

BP[Bullying Prevention]  
プロジェクト  
(いじめ防止支援プロジェクト)

いじめ問題に関して特色ある取組を行っている4大学(宮城教育大学、上越教育大学、鳴門教育大学、福岡教育大学)が専門的な知識と情報を駆使して、教育委員会や学校が行っている教員研修や教育活動等に対し、これまでより一歩進んだ支援(①教育委員会や学校への研修・教育支援等の支援事業 ②いじめ関係研修プログラム開発等の教育・研究事業 ③教育委員会研修担当者・教員等への研修事業)をしていくために発足したプロジェクト

プロジェクト名  
大学名

宮城教育大学

上越教育大学

鳴門教育大学

福岡教育大学

宮教版いじめ防止等支援  
プロジェクト

いじめ等予防対策支援  
プロジェクト

いじめ防止支援機構

いじめ根絶  
アクションプログラム

☆ 特別支援教育といじめ問題の研究

○ 通常学級における発達障害のある(疑いも含む)児童生徒のいじめ問題の研究

- 発達障害のある児童生徒だけでなく、学級全体への指導や支援について研究を推進。
- 有効な実践上の工夫として「小学校から中学校へのスムーズな移行支援」「児童生徒を支援する学内キーパーソン作り」「児童生徒の認知・行動特性に関する学級への心理教育的アプローチ」「児童生徒を支え、受け入れられる学級集団の育成」等が共通ファクターであることを明らかにする。

☆ いじめの予防を中核としたいじめ等予防対策支援

○ 教員研修プログラムの開発

現職教員、新任教員の職能発達を支えるものとなるような研修プログラムの開発、実施、評価を実施。

○ 研究・実践成果をまとめた小冊子の発行

いじめの発生予防、対処法等に関する理論的な研究に基づいた学校現場で利用できる実践的なトレーニング方法や授業方法などの提案を行う小冊子の作成を計画。

☆ インターネットやLGBT等の現代事情に即したいじめ防止対策に関する研究

○ 情報モラル教育として使えるワークシートの開発

ネットいじめの特徴である匿名性・無境界性・群集性に加え、加害者が意図せずに深刻な状況を演出してしまう点に留意したワークシートの開発・提供。

○ 性的指向・性自認・LGBTを理由にしたいじめ被害の研究

LGBTに関する教師の理解や児童生徒への指導の推進。

☆ いじめ防止を意図した各教科等の指導案の開発

○ 現行の教科で扱う、いじめ予防に資する授業案(いじめ防止を意図した各教科等指導案)の開発

小学校5校に協力依頼し、プログラムの有効性の検証を試行。

○ 現行の教科・領域等では十分に取り扱いえていないいじめ予防に資する具体的プログラムの開発

附属学校を中心にプログラムを30程度開発、試行、改善し、公立学校で使えるプログラム、授業の在り方を提案。

実施している主なプロジェクトの特色

上記の各大学の特色のある先進的な取組、研究成果を参考にしながら、本県の実情に沿ったいじめ防止等プログラムの構成、内容を検討し進めていく。